



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草 7-4-1

- 0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

心のスペース確保

住職 平田真純

聖天様に大根をお供えすることは、ここ最近多くの方々に知られるようになってまいりました。先日の「大根まつり」も大変賑やかな行事になりました。

大根は体内の毒素を中和し、消化を助け、身体を調えるはたらきがあります。心身一如といわれるように、

心と体はつながっていると
いうことから、大根を供えることは、心の毒素も中和し、心身ともに健康を促すという信仰的意義もあります。

摂取した食物の不要物は、きちんと消化して胃腸にスペースを確保しなければ体は活性化しません。同じように余分な観念・雑念は整理して、心の中にも新しい

智慧・エネルギーが入るスペースを確保しておく必要
があります。特に変化の激しい昨今の時勢においては、
心の中に余裕があるに越したことはないでしょう。
聖天様に俗世の祈願をすることと心身を浄めること
とは一見矛盾するようですが、実は密接な因果関係が
あるといえます。大根のはたらきに倣って心を浄化し
て参拝してください。



正月 本堂にお供えされた大根



大根まつり 風呂吹き大根を配る風景

待乳山便り

お正月 大根まつり 報告

年が明けた元日午前0時、半鐘の合図と共に開堂すると堂内は大勢の初詣の方で賑わい、参拝客の皆様在世話人のご奉仕による特製のお屠蘇が振る舞われました。また例年通り、三が日には一日三回、今年一年の開運を願う正月特別祈祷が執り行われました。特に新年最初の正月特別祈祷には内陣から

溢れんばかりの人数が参加し、境内に太鼓とお経を唱える声が響き渡りました。

一月七日にはお正月にお供えされた大根を、風呂吹き大根にして皆様と一緒に振る舞う大根まつりが執り行われました。今年は去年に引き続き、神楽殿にて西川流家元の西川箕乃助様による新年にふさわしい「七福神」という題目の奉演舞踊が演じられ、多くの人がご覧になっていました。

風呂吹き大根を求める列は聖天公園にまで達し、その様子はテレビの報道番組でも取り上げられました。午後一時過ぎには用意した材料がなくなり、盛況のうちに終了いたしました。

世話人往来

新たに渡邊由美子様を写経の会世話人として任命いたしました。これからよろしくお願いいたします。



御奉納

- ① 松本達郎様より提灯を二張御奉納いただきました。
 - ② 画家の谷川泰宏様より、今年も干支福絵を御奉納いただきました。
 - ③ 石川一浩様より、プロローをご奉納いただきました。
 - ④ 吉田純真様より、行者が本堂に上がる際に使うスリッパをご奉納いただきました。
 - ⑤ 写経世話人の皆様から、テントをご奉納いただきました。
- ありがとうございます。



二月御縁日大法要・行事紹介

節分会 二月三日(日) 午後三時

節分札一組 五〇〇円
福豆 一合枮 五〇〇円 一升枮 三、〇〇〇円
当山では今年一年の除災招福

後三時より信徒会館正門よりお練り行列が立派に、本堂に入堂。浅草寺一山の僧侶がお経をお唱えする中、年男が境内の各所で福豆を撒き一年の厄払いをいたします。



参道ではお神酒も無料でふるまわれますので、皆様お誘いあわせの上、ご参拝ください。

浴油講 二月二十日(水) 午前十一時

講金一、五〇〇円
(奉納 胡麻油一斗缶 一五、〇〇〇円)

当山では密教の秘法である浴油祈禱を以て、毎朝ご尊像をお清めして祈願しております。浴油講では御祈禱に使われる胡麻油を供養いたします。

講に申し込まれた方には家内安全、商売繁盛を祈念いたしましたお守りと、聖天様へお供えしました胡麻油をお授け致します。胡麻油一斗缶のご奉納も受け付けております。

大聖歡喜天利生記

神仏が衆生に利益を与えることを利生りしょうと呼びます。かつての当山誌『待乳山便り』に掲載された信仰体験談をシリーズでご紹介いたします。

私の信仰

伊波幸爾郎

(待乳山便り 昭和二十五年一月発行)

道具屋開業

私の父は明治時代まだ鉄道馬車が店の前を通っていた頃から、横山町二丁目で袋物の商売をしておりました。ところが私が現役で三年間兵隊に行っている留守に父が没し、それから除隊後、四、五年の間、父の商売を継いで、一生懸命稼ぎました。おかげで仲間はもちろん、客先にも信用がついて、世間からも褒められてついつい遊び始めました。そのあげくが親の財産をすっかり無くしてしまいました。二、三年の内には母親にも随分大不孝をし、それでお定まりの裏屋住居と言うことになってしまいました。その頃は家内も何も無いから、なんと書いても気軽です。何しろ袋物屋の商売を相当やっています。道具も少し位あったので、いわゆるたけのこ生活でした。家の品物をたけのこを一枚ずつ剥ぐように少しずつ売っては暮らしていましたが、そうは続かない。見かねた道具屋さんが、「伊波さん遊んでおたつてつまらないから一番道具屋になったらどうだね。」と親切に言ってくれましたが、そう簡単

になれるものではないであろうと。

「何でもないですよ。教えてあげるから道具屋になりなさい。それにしてもこんな裏屋じゃあ仕様がなから何とか表通りへ出て、店のきく所で営業しなけりゃ駄目だ。どんな道具でも貸して上げるからやって御覧なさい。」

そこでまた物を売りはじめ、資金を作つて濱町へ店を出しました。しかしなかなか筋書通りをゆかず、儲けるより損が多い。一向にパツとしませんでした。

きれいな御厨子

ある時、道具屋仲間が美しい御厨子を持つてきました。

「これは君、何だよ、実に安いものだけれど、人によると高く売れるから儲け給え。きつと売れるよ。買う人の方が知ってるよ。原価は幾らであとは君が儲け次第だから。」

成る程、良く見るとまさに素人目ながら立派なものでした。そうかなあと思っている内に、一、二日経つたらお客さんが来ました。

「道具屋さん、このお厨子は幾らだね。」

私も貧乏していたが、其の人が法被を着て、下らない着物を着ている、見るからにみすぼらしい人にはそんなに高く言つたつて売れないだろうし、それではまあ相当の値段を言つたところ

「そうかありがとう。よし買つておこう。だけど今、銭は持つてないよ。実は私の家は森森なんだ。今、両国橋の向こうの指物店へ仕事に来ていたんだ。今日は唯ぶらぶら何となく廻つて来るような気持ちに

なつたものだから来たのだけれども、こんなよい福の神に会えたとは有難いね。これでもつて俺も家が出来るし出世もするよ。すまないけどあした店へ金を取りに来てくれよ。」

変な人だな。お厨子一つでそんなに嬉しいなんて思つたが翌日持つていきました。

「しかし道具屋さん、お前さんつまらないね。」

「何がつまらないんです。」

「道具屋さんも素人の様だがね。これは御尊天様の御厨子なんだよ。この中におまつりする御本尊様は君の所にあるのかね。」

「そんなものありませんよ。空のお厨子を買つたんですよ。」

「そうかね。お前さんも折角立派なお厨子を手に入れたんだからこの中へ御本尊の聖天様をおまつりしてごらん。たちまち商売が繁昌するのに。お前さん待乳山の聖天様に行けばわけはないじゃないか。」

あの時分、私も待乳山の聖天様を知らないわけじゃあないが、

「でも私は元来真宗だ。南無阿弥陀仏だ。だからそういう所へ参詣して怖いと言われている神様のたたりでもあつては大変だからごめんです。」

「そんなこと言うけど、それは間違ひさ、私はこんななりをしているけれど小遣ひに困つた様なことはないよ。お詣りしていると御利益をよく頂くからね。」
(次号に続く)

※当時掲載された文章を再編集しています。(文責 編集部)

二月行事予定

御縁日大法要

節分会 二月三日(日) 午後三時 節分札一組 五〇〇円也

僧侶が一年分のお経をお唱えする中、年男による豆まきが行われます。

福枳(福豆付) 一升枳 三、〇〇〇円 一合枳 五〇〇円

浴油講大法要 二月二十日(水) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

毎朝の浴油祈禱に使う胡麻油をお供えします。

朝まいり会 二月一日〜七日 午前八時から八時半会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法を行います。

日曜勤行 二月十日(日) 午前九時 参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会 二月十日(日) 午前十時/午後一時 会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましよう。

坐禅の会 二月二十三日(土) 午後五時〜七時 定員二十名 参加費 五〇〇円也

本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要 二月二十五日(月) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒に上げする御礼の法要です。

三月の行事 御縁日大法要

稻荷祭 三月十日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

婦人講 三月二十日(水) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内 祈禱料

聖天様独特の供養法である

浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

法要案内

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

別座祈禱 壺万円(一週間)
浴油祈禱 三千五百円(一週間)
華水供 五百円(一日)

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壺万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。

ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp またメールをお送りください。